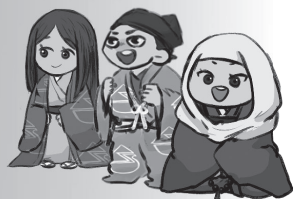


河の終わりは
海の始まり

伊豆国の 47,385人

(令和4年10月1日現在の伊豆の国市人口)



大河ドラマ『鎌倉殿の13人』
という大きな河の流れが
今、フィナーレを迎えようとして
います。

令和2年1月の大河ドラマ『鎌倉殿の13人』放送決定から、市内での撮影終了までの約千日間、この大きな河の流れに関わった人たちは、市が把握できる範囲で計1,123人と見込まれます。

エキストラとしての出演協力してくれた人、伊豆オープンセット予定地の造成作業してくれた建設業協会、大河ドラマ推進協議会のメンバー、出演者やスタッフの宿泊先で疲れを癒してくれた旅館スタッフ、弁当・花の配達、ロケ地の清掃など；でも、これは一部であり、実際にはもっと多くの皆さんが、様々な場面で参加してくれたことでしょう。これだけ多くの市民が一体となって、ロケという名の

まちおこしに参加することができたことには、感謝の言葉しかありません。

大河ドラマ『鎌倉殿の13人』は、12月18日(日)に最終回を迎え、伊豆の国大河ドラマ館も、令和5年1月15日(日)に閉館を迎えます。

しかしそれは、私たちにとって終わりではありません。大きな河の終わりは、さらに大きな海の始まりなのです。

今回私たちが、深く知ることができた郷土の歴史を、次は、市民全員が語り部となり、後世に伝えていく番です。

それこそが、大河ゆかりの地であり、ロケ地となった伊豆の国市が果たすべき役割なのかもしれません。



第1話で伊東祐親の家人(エキストラ)が北条館に向け弓を構えるシーンで演技指導する監督・助監督



吉田 照幸さん
大河ドラマ『鎌倉殿の13人』(NHK)
チーフ演出(監督)

ロケ地としての 伊豆国

撮影してみて
どうでした？

今 回、伊豆の国市や伊豆の各地でロケを行ったことは、制作スタッフにとつてどうだったのか？全ての伊豆ロケが終わった10月、大河ドラマ『鎌倉殿の13人』のチーフ演出(映画の監督にあたる人)を務める吉田照幸さんに聞いてみました。

「歴史的なゆかりの地で、実際に大河ドラマのロケができたことに意味がありました。生えている植物、山並みや海の色など、その土地特有の雰囲気、私たちの好奇心やクリエイティビティは刺激されます。役者も、空き時間に周辺市町のゆかりの史跡を回ってイメージを膨らませることができました。田中山の『伊豆オープンセット』も、市街地からそれほど遠くないので、使い勝手が良かったですね。」

エキストラについて聞いてみると、「地元の人が多く参加してくださってありがたかったです。軍勢が声を上げるシーンなど、いい反応をしていたので、役者もモチベーションを高めて演技できたと思います。エキストラの皆さんもロケは大変だったと思うけど、楽しんで参加していただけたならうれしい」とのことでした。

また、市の受け入れ体制についても次のように語ってくれました。「こちらの無理難題にも快く対応してくださっ



NHKプロデューサーとロケに関わった市職員

て、制作スタッフも『大変ありがたい』と言っていました。皆さんが心から歓迎してくださっているのが伝わりました。また今回、古いお寺や山道、湖のほとりなど、過去に撮影したことのないロケ地が各地に埋もれていました。今後ロケを誘致するのであれば、伊豆半島に眠っているこれらの資源を開発していくのもよいと思いました。」

この広報紙が出るころには、ちょうど伊豆オープンセットで撮影された和田合戦(9ページ年表参照)のシーンが放送されるそうです。吉田さんは「伊豆の国市のロケセットで市民エキストラが参加して撮影した、和田義盛の名シーンをぜひご覧ください」と話してくれました。

大河ドラマ『鎌倉殿の13人』 今後の放送日

全48回の歴史物語はここから最高潮へ。
今後の放送日は下記のとおりです。

- 10月30日(日) 第41回
- 11月6日(日) 第42回
- 11月13日(日) 第43回
- 11月20日(日) 第44回
- 11月27日(日) 第45回
- 12月4日(日) 第46回
- 12月11日(日) 第47回
- 12月18日(日) 第48回(最終回)

NHK総合 20時
BSプレミアム/BS4K 18時
※再放送は各放送日の翌土曜日 13時5分

伊豆の国大河ドラマ館は1月15日(日)で閉館

菟山時代劇場にある大河ドラマ館は、大河ドラマ『鎌倉殿の13人』の放送終了後、令和5年1月15日(日)で閉館します。撮影に使われた衣装や、出演者の撮影秘話の映像など、今しか見られない貴重な資料が展示されています。毎月変わる限定入館記念証もぜひ手に入れてください。

開館時間 9時~17時
(最終入館16時30分まで)
休館日 毎月第1水曜日(1月は無休)

